

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



DIGITAL

地上デジタル放送対応

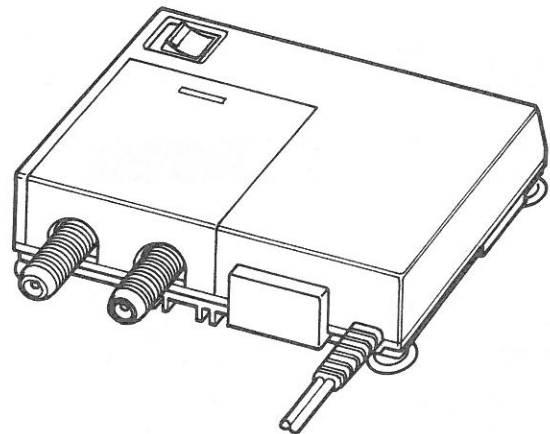
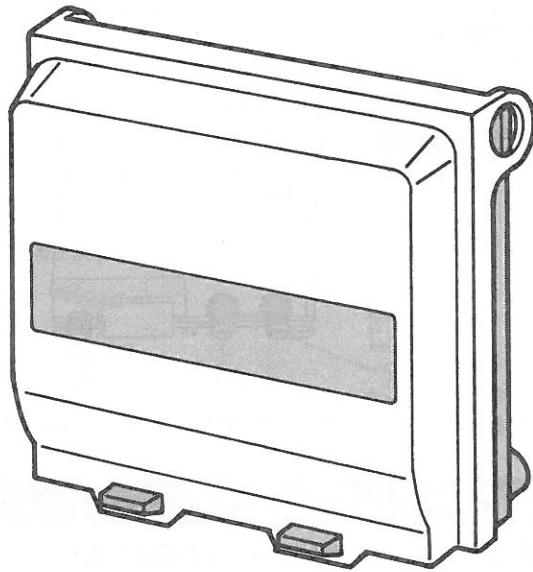
特定地域用ブースタ 京都・奈良地区用DC15V電源重畳方式DCブースタ

UHF・VHF増幅

BM-351J

UHF増幅

BU-351J VHFパス回路内蔵



製品の特長

- 京都・奈良地区でテレビ大阪 (ch.19、ch.21) 受信。内蔵のフィルタがデジタル放送の影響をおさえ、アナログ・デジタル放送ともに安定した美しい画像を約束します。
- 入出力端子にF形接栓を採用し、デジタル放送受信に適しています。
- 入力切換スイッチにより、UHF・VHF混合入力 (1本入力) またはUHF・VHF別入力の2段階に切り換えられるため、現場に即した工事が可能です。また衛星放送受信に備えたDC15V電源重畳方式を採用しています。
- UHF、VHFの各帯域ごとに独立した利得調整回路で、さまざまな電波状況に対応します。(BM-351J)
- 耐候性に富む高品質樹脂ケースで、長期にわたり高性能を発揮します。
- 小形・軽量設計で取り扱いも簡単です。
- 耐トラッキング対策形電源プラグを採用した安心仕様です。

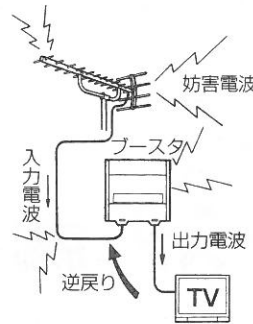
お取扱いの前に

- 取付作業は、この取扱説明書をよくお読みの上で行なってください。
- ブースタを落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- このブースタは、増幅部と電源部を結ぶ同軸ケーブルに電流が流れます。途中に通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、途中に通電形機器を挿入する場合は、通電端子をよく確かめてお使いください。
- 使用時、異常が生じた場合はただちに電源の供給を止め、原因を確かめてください。
- 電源部は、電源コンセントの近くで、異常が生じたときにすぐに電源プラグを抜くことができる場所に設置してください。

■ブースタは正しくお使いください。

ブースタを正しく取り付けないと、自分の家やご近所のテレビの映りが悪くなる場合があります。

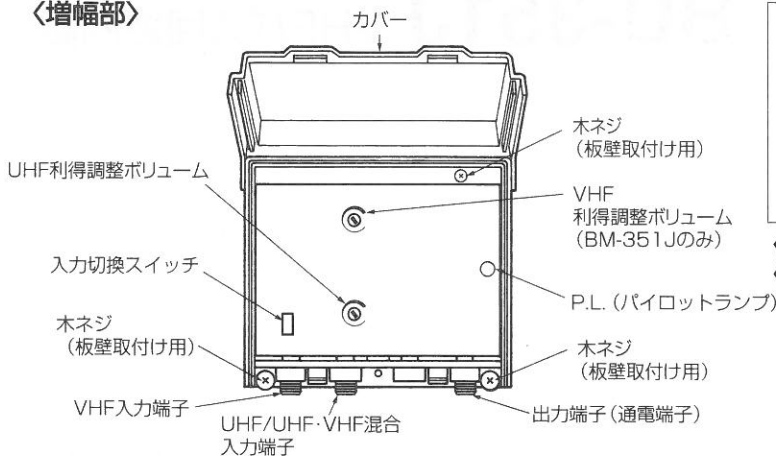
- ①入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書に従い確実にこなしてください。
- ②入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースタに巻きつけないでください。
- ③配線は、必ず同軸ケーブルをご使用ください。
- ④アンテナマストに取り付ける場合、各アンテナとブースタの距離を1m以上離してください。



ブースタを正しく使用しないと増幅器内で増幅された出力電波が、正常にテレビセットへ送られなかったり、出力電波の一部が入力側に逆戻りして、発振（妨害電波を発生する現象）を起こすことがあります。一台のブースタが発振を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなる場合があります。

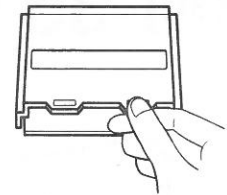
各部の名称

〈増幅部〉



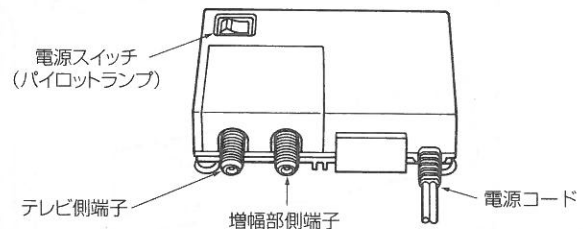
カバーの開けかた

図のように、人差し指をカバーの下側に添え、親指でつめを押すとロックがはずれます。後はカバーを持ち上げて開けてください。接続、調整などの作業が終わったら、もとどおりにパチンと閉めてください。



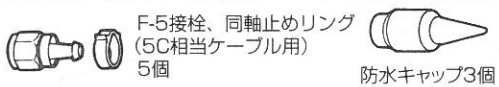
〈電源部 (PS-37) (BM-351J)〉

〈電源部 (PS-38) (BU-351J)〉

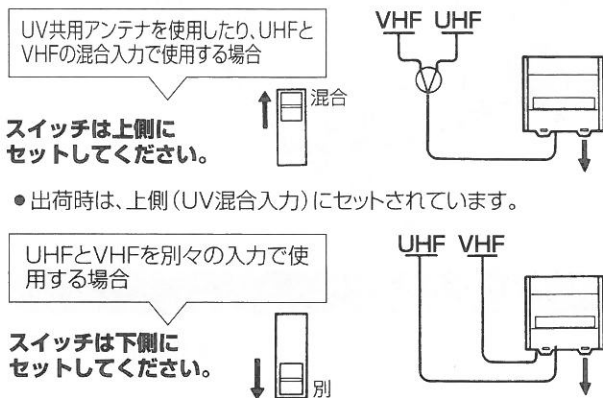


- スイッチを切り換える場合、切替操作を数回行い、スイッチ接点部の活性化（クリーニング）をしてください。

付属品



入力切換スイッチの操作



スイッチは上側にセットしてください。

- 出荷時は、上側 (UV混合入力) にセットされています。

UHFとVHFを別々の入力で使用する場合

スイッチは下側にセットしてください。

利得調整ボリュームの操作

- 各帯域において、利得を標準から-10dBまで連続で調整できます。
- 出荷時はすべて-10dB (利得最小) 位置にセットされています。入力レベルが低く、スノーノイズ等が目立つ場合は、画像に障害がなくなる位置までボリュームを0dB (利得最大) 方向に調整してください。

利得調整

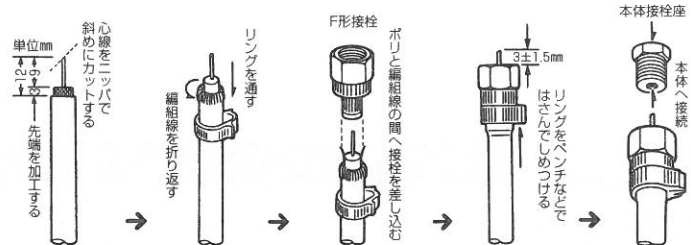


同軸ケーブルの接続方法

〈F-5接栓 (付属品) への同軸ケーブルの接続方法〉

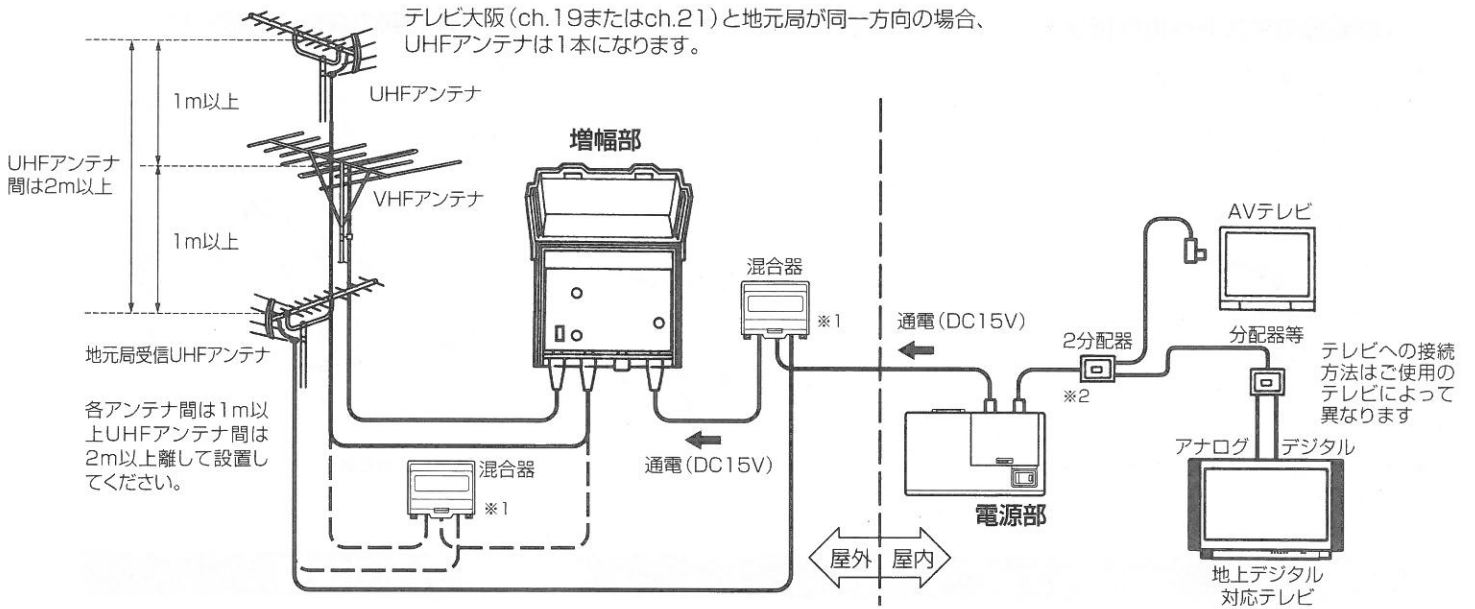
増幅部を屋外に設置する場合、防水キャップ (付属品) は同軸ケーブルの太さに合わせて先端を切断し、あらかじめ同軸ケーブルに通しておいてください。

締付トルク
200N・cm



- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組線に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。
- 電波を効率よく伝送するため、同軸ケーブルは5C-FVS、S-5C-FBの低損失ケーブルをおすすめします。また、BS-CDXなど、他のサイズの同軸ケーブルをご使用の場合、それぞれの同軸ケーブルに適した接栓 (別売) をご使用ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 防水キャップは増幅部本体にすきまなく奥まで確実に差し込んでください。内部に雨水などが入ると故障の原因となります。

使用例



- ※1) 地域によってはテレビ大阪と地元局の混合器 (UUM-210J、UUM-212J等) は増幅部の前につけた方が良い場合があります。
- ※2) 通電形の分配器を使用する時は、分配器を混合器 (増幅部) と電源部の間に入れることもできます。

電源の供給

- 電源の供給は、必ず取付工事が終って、すべての同軸ケーブルが正確に接続されていることを確認してから行ってください。
- 電源部のACコードを室内のコンセントにつなぎ、電源スイッチをONにすると電源部と増幅部のパイロットランプの点灯と同時にブースタが動作します。

使用上のご注意

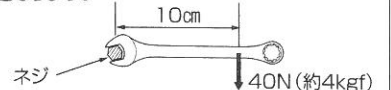
| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>増幅部とアンテナは必ず1m以上離し、電源部への同軸ケーブルをアンテナよりできるだけ遠ざけ、必要以上に長く引き廻さないでください。</p> | <p>同軸ケーブルは束ねたりせず少し余裕のある程度でご利用ください。</p> | <p>ブースタを取り付けてもテレビ画面にスノーイズ (鮮明な画像が得られない) が目立つ場合はアンテナの位置を変えたり、場合によっては素子数 (エレメント) の多いものに取り換えてください。</p> | <p>指定の地域内でもアンテナの設置状態が悪かったり建造時の障害を受けるような場合はブースタを設置しても良好に受信できないこともあります。</p> |
| <p>増幅部は「防雨形」ですが、ショートや故障の原因にならないように、ブースタのカバーは確実に閉じて雨水がはいるらないように注意してください。</p> | <p>増幅部と電源部を結ぶ同軸ケーブルには電源が重畳されていますから、途中には通電形機器以外は絶対に入れないでください。</p> | <p>電源部はこのブースタ専用の電源部ですから、他のブースタに使用することはできません。また他の電源部をこのブースタに使用する場合、当社指定品以外は使用しないでください。</p> | <p>電源部のパイロットランプが点灯しない場合、同軸ケーブルなどによるショート可能性があります。ただちにスイッチを切り、接続を確認してください。</p> |
| <p>ブースタを長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。</p> | <p>ブースタの電源部は感電する恐れがありますので、カバーをはずしたり、絶対に分解しないでください。</p> | <p>電源部は狭いところに押し込んだり、上に物を置いたり、ストーブのような発熱体の近くに置いたりしないでください。</p> | <p>この電源部は屋内専用です。水の入った容器の近くや、湿気、ホコリの多い場所には置かないでください。</p> |

火災や感電、故障の原因になりますので、電源部に異物を入れたりしないでください。

電源部は電源スイッチを切っても待機電流が流れています。万一、異常が生じたときには、すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

〈ご参考〉

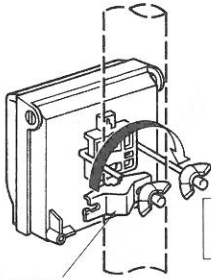
締付トルクとは、ネジを締める力の数値です。たとえば、スパナを用いてネジから10cmのところまで40N (約4kgf) の力を加えたとき $40\text{N} (\text{約}4\text{kgf}) \times 10\text{cm} = 400\text{N} \cdot \text{cm}$ (約 $40\text{kgf} \cdot \text{cm}$) となります。



取付方法

〈増幅部のマストへの取付け〉

背面のマスト取付金具で、図のように取り付けてください。



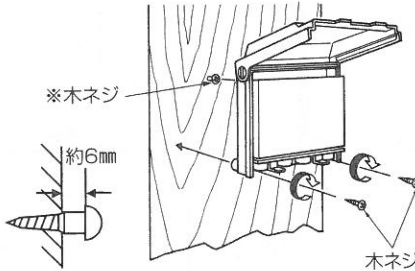
締付トルク
100~150N・cm

マスト取付金具

- 取り付け可能なマストは、直径25~43mmのもの です。

〈増幅部の板壁への取付け〉

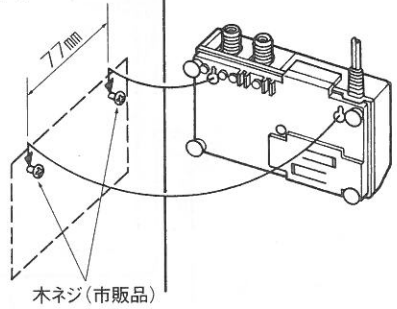
本体ケース内で右上に付いている木ネジ1本をあらかじめ板壁に取り付け、本体を引っかけてから、図のように、カバーを開いて増幅部仮止めの木ネジ2本で取り付けてください。



※このネジは最後まで締めきらずに約6mm手前でとめる。

〈電源部の板壁への取付け〉

電源部はテレビの上などに置くだけでなく、底面の壁掛用木ネジ穴を利用して、図のように柱または板壁に取り付けることができます。



規格特性

〈増幅部 BM-351J〉

| 品名 | UHF・VHF特定地域用ブースタ | | | 品番 | BM-351J | |
|-----------------|------------------|-------------|--------|--------------|---------------------|--------|
| 使用帯域 | VHF | UHF | | 使用帯域 | VHF | UHF |
| 使用チャンネル(ch.) | FM・1~12 | 13~17,23~55 | 19~21 | 入力インピーダンス(Ω) | 75(F形) | 75(F形) |
| 標準利得(dB) | 27~33 | 15~25 | 25~31 | 出力インピーダンス(Ω) | 75(F形) | |
| 利得調整範囲(dB) | 0~10 | 0~10 | | 重量電源(V/mA) | DC15(伝送線重量式)/150 | |
| 適正入力レベル範囲(dBμV) | 37※~62 | 41※~70 | 38※~64 | 使用温度範囲(℃) | -20~+50 | |
| 定格出力(dBμV) | 95 | 95 | | 外形寸法(mm) | 118(H)×136(W)×53(D) | |
| V S W R | 3.0以下 | 3.0以下 | 3.0以下 | 質量(kg) | 0.35 | |
| 雑音指数(dB) | 4.5以下 | 8以下 | 5以下 | | | |

〈電源部 PS-37〉

| | | | |
|--------------|-------------------|-----------|--------------------|
| 電源(V/W) | AC100V(50/60Hz)/5 | 挿入損失(dB) | 0~1.5 |
| 重量電源(V/mA) | DC15/150 | 使用温度範囲(℃) | -10~+40 |
| 入力インピーダンス(Ω) | 75(F形) | 外形寸法(mm) | 35(H)×120(W)×86(D) |
| 出力インピーダンス(Ω) | 75(F形) | 質量(kg) | 0.3 |

〈増幅部 BU-351J〉

| 品名 | UHF特定地域用ブースタ | | | 品番 | BU-351J | |
|-----------------|--------------|-------------|--------|--------------|---------------------|--------|
| 使用帯域 | VHF | UHF | | 使用帯域 | VHF | UHF |
| 使用チャンネル(ch.) | FM・1~12 | 13~17,23~55 | 19~21 | 入力インピーダンス(Ω) | 75(F形) | 75(F形) |
| 標準利得(dB) | -0.5~2.0 | 15~25 | 25~31 | 出力インピーダンス(Ω) | 75(F形) | |
| 利得調整範囲(dB) | — | 0~10 | | 重量電源(V/mA) | DC15(伝送線重量式)/90 | |
| 適正入力レベル範囲(dBμV) | — | 41※~70 | 38※~64 | 使用温度範囲(℃) | -20~+50 | |
| 定格出力(dBμV) | — | 95 | | 外形寸法(mm) | 118(H)×136(W)×53(D) | |
| V S W R | 3.0以下 | 3.0以下 | 3.0以下 | 質量(kg) | 0.35 | |
| 雑音指数(dB) | — | 8以下 | 5以下 | | | |

〈電源部 PS-38〉

| | | | |
|--------------|-------------------|-----------|--------------------|
| 電源(V/W) | AC100V(50/60Hz)/3 | 挿入損失(dB) | 0~1.5 |
| 重量電源(V/mA) | DC15/90 | 使用温度範囲(℃) | -10~+40 |
| 入力インピーダンス(Ω) | 75(F形) | 外形寸法(mm) | 35(H)×120(W)×86(D) |
| 出力インピーダンス(Ω) | 75(F形) | 質量(kg) | 0.3 |

※印は実用限の値です。

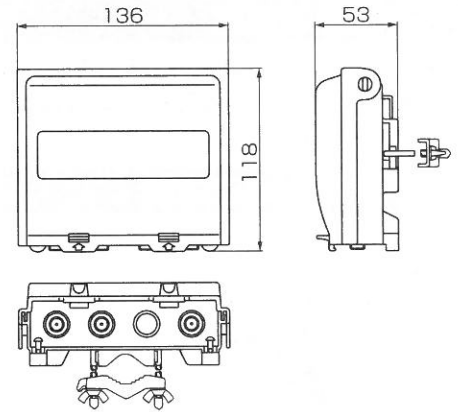
●電源部の規格は、電源部本体の裏面にも表示しています。

規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

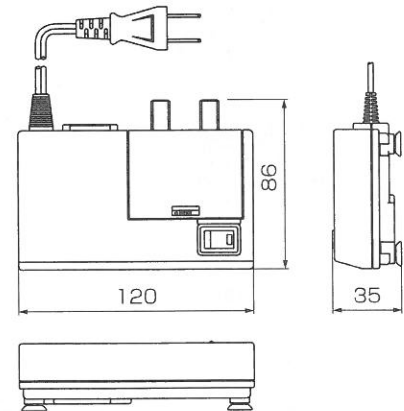
JEITA表示による。

外形寸法図

〈増幅部〉



〈電源部〉



(単位: mm)

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- 札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)
- 東北支店 TEL.(022)243-2141(代)
- 郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)
- 東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)
- 東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)
- 東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)
- 多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代)
- 埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)
- 宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)
- 新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)
- 茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)
- 千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)
- 横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)
- 静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)
- 浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)
- 中部支店 TEL.(052)771-5106(代)
- 松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)
- 岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代)
- 三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)
- 金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)
- 富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)
- 大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)
- 近畿システム営業所 TEL.(06)6304-5658(代)
- 堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)
- 京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)
- 神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)
- 広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
- 岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
- 高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
- 松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
- 福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
- 北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
- 大分営業所 TEL.(097)558-7235(代)
- 熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
- 南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
- 沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

(2003年3月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)